

## キタ！からきた

だより 第151号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。  
[kitasibu2012@yahoo.co.jp](mailto:kitasibu2012@yahoo.co.jp) 大阪北支部宛



## 「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 039> レポーター（福島みどり）

今回ご紹介するのは大阪市社会福祉協議会の子ども・子育てプラザでお仕事をされておられる島岡繁希さんです。高校生の頃、テレビで見た「児童養護施設」で働く職員の姿をみて衝撃を受けたことが、社会福祉士を目指す契機となりました。

当時反抗期だった為、上から目線の先生など大人達と違い、「子ども達に寄り添いたい」と子ども達の、周りの大人達に反抗していた島岡さんは衝撃をうけたようで、たまたま観ていた夕方のニュース特集で、児童養護施設のスタッフが働く姿をみて感銘を受け、社会福祉士を目指しました。高校生の反抗期の頃、上から目線の先生や周りの大人たちに比べ、「私たちは子供たちに寄り添いたい」という、上からではなく、横から又は下から支えてながらも楽しんでいる素敵な人たちの姿に感銘を受けてこの道を選ばれたそうです。大学では社会福祉士と保育士の資格も取得され、卒業後は社会福祉協議会に就職されました。地域福祉の分野で6年間経験を重ね、昨年から念願だった児童福祉の分野に異動になり現在に至っています。子育てプラザは11名の職員で構成され、乳幼児と保護者の方の遊び場づくり、つながり作りのイベント企画や子育て相談など地域の子育て世帯のよりどころとなる施設です。ある保護者の子育ての悩みを聞き、自分たちに何ができるだろう？どこにつなげばいいんだろうか？社会福祉士として何が出来るのか？と考えた島岡さんは、小児科の医師や保健師、役所の障害福祉など社会資源を使い情報提供し傾聴するなど、次へつなぐシステムを積極的に職場に提案しています。

そんな島岡さんの仕事の息抜きは、6歳4歳のご自身の子供たちとの触れ合いやアコースティックギターを弾きながらブルーハーツをうたうこと、携帯で将棋を打っている時は無になるので、ストレス解消になっているそうです。

座右の銘は「和をもって尊しとなす」。穏やかで笑顔の素敵な島岡さんの夢は、児童福祉など制度や政策が変わるときに現場実践者としてその制度や政策にかかわることです。現場を知っているものだからこそ、現場をよくする政策作りができると力強く語っておられました。

現在、希望する児童福祉の現場で働いている島岡さんは、一緒に仕事をしてきた先輩や多職種の先輩達から受けた言葉かけや心配りがあったからこそ今の自分がいる、感謝の言葉しかない、この感謝は後輩たちにつないでいきたいと話されていました。高校生の時に感じた「人に寄り添い、人を支えたい」気持ちは、今もAさんが支えられ、周りの人を支えつなげているようです。素敵な笑顔で楽しく語っていただきました。ありがとうございました。

研修のおいせ

『死を前にした人に あなたは何ができますか？』

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会によるケア援助者養成研修を修了された社会福祉士が「折れない心を育てるいのちの授業」に続き、第二弾として、ロールプレイを交えながら「死を前にした人に あなたは何ができますか？」の研修会をオンラインで実施いたします。他支部の方の参加も大歓迎です。この機会にぜひご参加ください。

日時：令和5年2月25日（土）14：00～16：00

場所：オンラインZoom

参加費：無料

定員：80名程度

講師：公益社団法人大阪社会福祉士会 大阪北支部 副支部長 田中宏幸 氏

申込み：右のQRコードまたは、URLからお申し込みください

<https://forms.gle/nQQRkK2emh4nvf9k7>

期限：令和5年2月18日（土）まで

※オンラインに参加するためのURLは、2/22頃にメール予定



★令和4年2月より、大阪北支部の公式LINEアカウントの運用が開始されています。現在、大阪北支部会員の100名近くが登録されています。

LINEの「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するか左のQRコードをスキャンしてください。

